

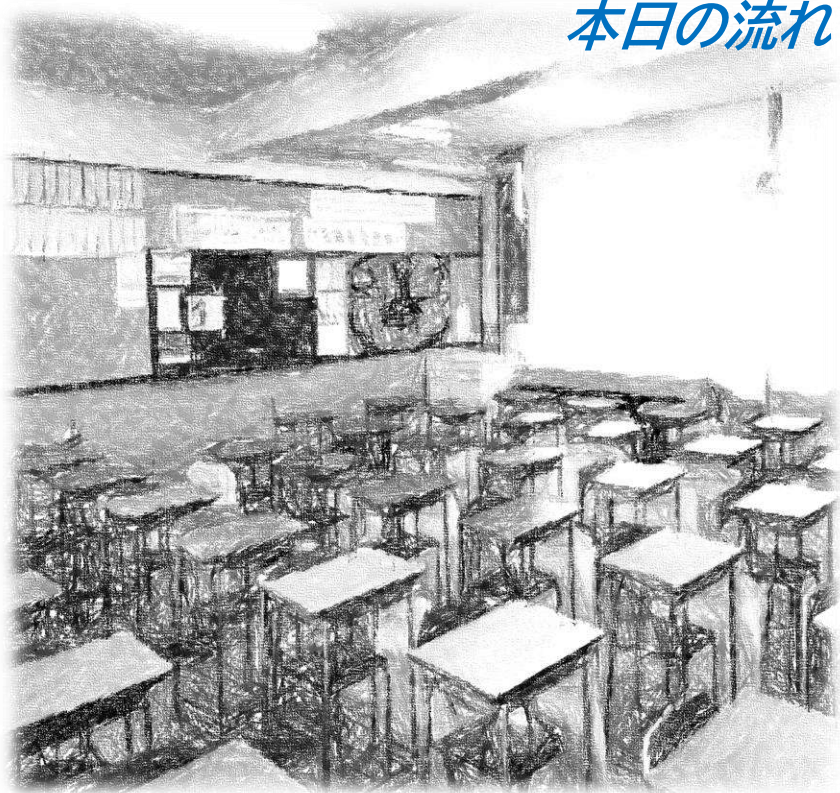
令和7年度 大阪府教育庁  
スクールエンパワメント推進事業研究校  
確かな学び(TM)を育む学校づくり

# <取組報告>

高石市立取石中学校

# お話すること

1. 取中の紹介
2. 昨年度の成果と課題
3. 今年度のテーマ
4. 今年度の取組
5. 成果と課題、今後に向けて



# 取中プロフィール

生徒数

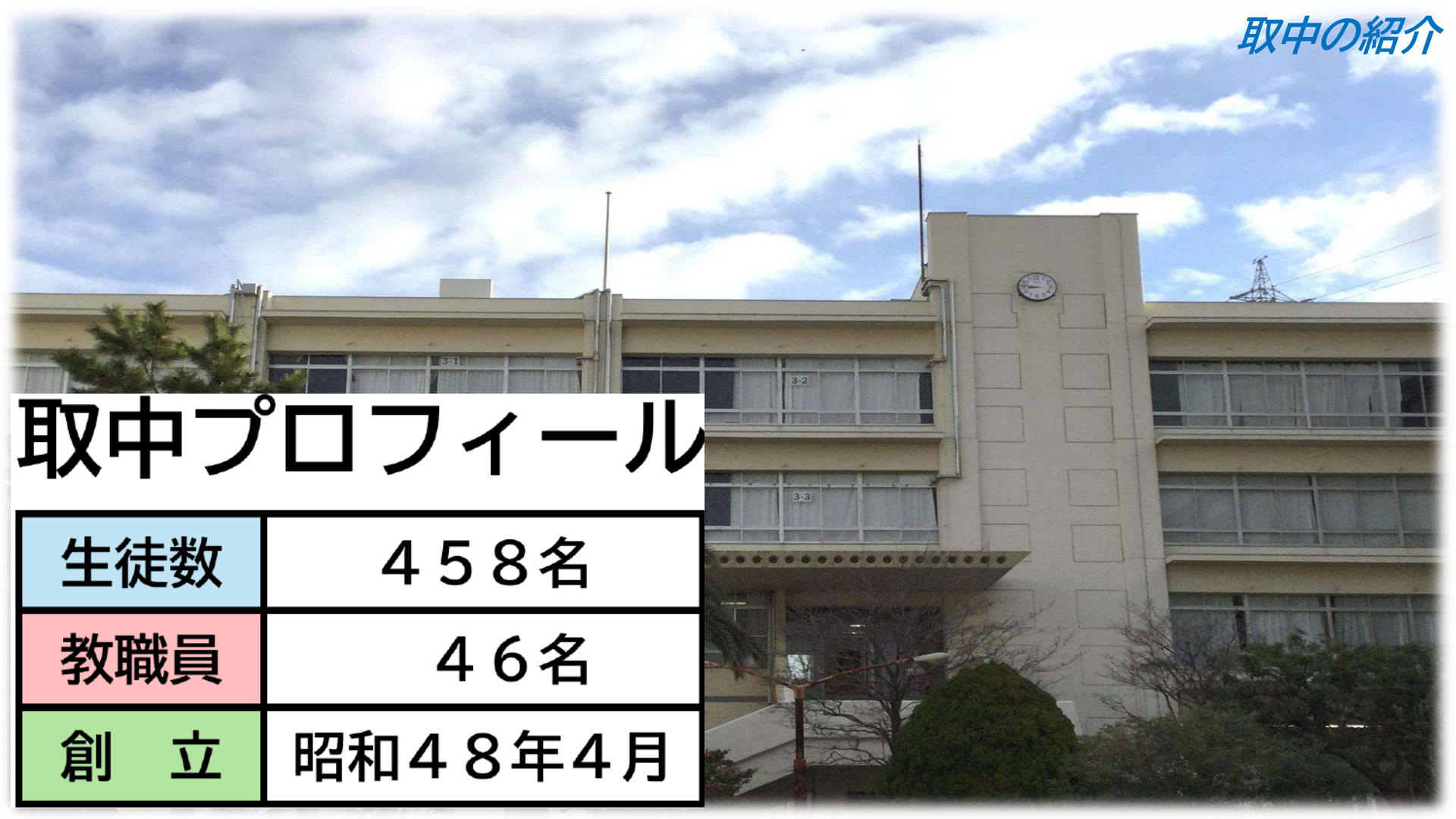
458名

教職員

46名

創立

昭和48年4月





# 令和7年度 高石市立取石中学校

## 学校運営 グランドデザイン



### 教育目標

心に響き 信じあい・ともに 伸び 新しい試みで

育てたい生徒像

心豊かな  
中学生に

社会的自立をめざし、主体的に責任をもって問題解決できる生徒  
夢や希望を持ち、その実現に向かって努力を継続できる生徒  
相手や周りの人を思いやることができる心豊かな生徒

生徒の知・徳・体の発達・成長が見える学校

成長

秩序と節度があり、あたり前のことが実践できる学校

## 学力の成長

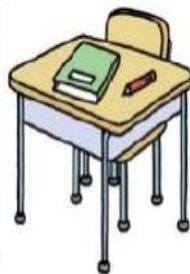
「取中スタンダード」の確立 step2

『考える授業づくり』の工夫 思考ツールを活用して!

「わかる・できる・楽しい」の実感 「やろう」という意欲をつくる **775** 家庭学習の定着化

- 「個別最適な学び」「協働的な学び」の一体的な充実を図る
- タブレット端末の有効活用した学習環境を作る
- 「考える」場面を意識して効果的で効率的な話し合い活動をつくる
- 「分からない」を大切にする授業を構築する
- 授業のめあて、まとめを大切にする
- できたところ・よいところをフィードバックする

思考スキルのUp



・各教科・道徳科の学習

・キャリア教育を軸にした総合的な学習

1年: 福祉体験学習 2年: SDGsソリューションプロジェクト 3年: キャリア(進路)学習

## 心の成長

～～生徒の自尊感情を高める取組の推進～～  
 ≪発達支持的生徒指導≫

## 体の成長

よりよく共に生きる生徒を育成し、豊かな人間性と創造力を育む

当たり前のことが当たり前ができる

**凡事徹底**

- ・人権教育、支援教育の推進→STOPざいじめ！
- ・道徳の授業を充実→心の健康と健全育成
- ・学校行事を軸とした学年・学級活動の充実
- ・主体的な生徒会・委員会活動の活性化



基本的な生活習慣の確立と体力づくりに努め、元気でたくましく生きる生徒を育む

- ・健康保持増進の自己管理能力の育成
- ・健全な食生活を営むことが判断力の育成と望ましい食習慣の涵養
- ・防災教育の推進

地域の一員としての自覚を育てる活動の充実

## めざす教職員像

☆子どもの身近なロールモデルとしての教職員☆

- 生徒の成長や進歩を喜び、生徒の心の痛みがわかる教職員 <共感力>
- 主体的に研修に励み、指導力を高める教職員 <向上力>
- 和・礼・法を大切にでき、信頼される教職員 <人間力>
- チーム取中の一員として、互いに支え合い高め合う教職員 <組織力>
- ライフワークを意識し、自身の「ウェル・ビーイング」の実現に努める教職員 <活力>



子どもと向き合うための  
 <働き方改革>

★ めざす学校像③

生徒と教職員がともに学び合う学校

教職員は「はじめに一社会人であり、教職員である自覚」

そのためには、生徒を第一に考え

ア 生徒の模範となり、一人ひとりに教育的愛情を注ぐ

イ 保護者、地域保護者、地域ととの連携を深める連携を深める

ウ 学習指導力、生徒指導力・進路指導力、外部折衝力、組織対応力を高める



★ めざす学校像④

保護者や地域に信頼され、地域とともにある学校

家庭

PTA

地域との連携・協働

取中校区地域教育協議会  
学校評議員

地域

取石小  
加茂小

保護者にとって  
「教職員が信頼できる学校」  
地域から「協力を得られる学校」

加茂幼

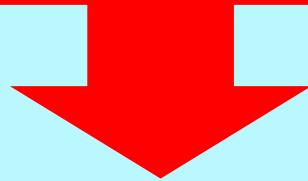
取石、取石南こども園

- 地域に開かれた学校づくり
  - ・地域に開かれた教育課程の編成
  - ・学校便りやHP等による積極的な情報発信
- 地域との連携・協働の推進
  - ・学校評議員会、地域教育協議会の運用
  - ・外部人材等の積極的な活用



取石中学校の

# T Mに含まれる 3 つの意味



- ① 府の事業(確かな学びを育む)
- ② 取中のメソッドの推進
- ③ 取中の未来につながる

## 昨年度のテーマ

# ユニバーサルデザインを取り入れた 取中スタンダードの確立

- ① 本時の流れの掲示 → 授業の見通しを見える化
- ② タイマーの設置 → 「可視化」
- ③ 教室環境の整備 (前方に目隠し 掲示物の精選 など)
- ④ ペア・班活動の実施 (自分の考えや意見を持つ)
- ⑤ 思考ツール研修 → 今年度の取り組みへ！



めあて: アマゾンの  
両面から

BRICS  
ブラジル  
ロシア  
インド  
中国  
南アフリカ共和国

前

④	①
③	②

本日の流れ

前回の復習

No. 36

No. 37

めあて

個人活動

班活動

ふりかえり

1. ットとデメリットの

本日の流れ

前回の復習

No. 36

No. 37

めあて

個人活動

班活動

ふりかえり

- ① 本時の流れの掲示
- ② タイマーの設置
- ③ 教室環境の整備

昨年度（UDアンケート）

- ・ 『めあて』の提示
- ・ 『学習の流れ』の提示
- ・ 静かになった後に説明や指示しているか

	6月	10月
『めあて』の提示	86.4%	94.1%
『学習の流れ』の提示	77.3%	94.1%
静かになった後に説明や指示しているか	85.7%	94.1%

## ④ ペア・班活動の実施 (自分の考えや意見を持つ)

昨年度

- ・生徒が考えたことを 6月 10月  
共有する機会を作っている 86%→71%

## ⑤ 思考ツール研修

昨年度より取組み始め、浸透や活用の差は大きく、今年度のテーマへとつながる！

# 生徒の学力の向上 教職員の授業力向上

知識および技能  
の習得

思考力・判断力・表現力等  
の育成

学びに向かう力・人間性等  
の涵養

学習指導要領に掲げられた育成をめざす資質・能力

具現化 ↓ 「取中スタンダード」の確立 step2 『考える授業づくり』の工夫 ↑ 育成

- 「個別最適な学び」「協働的な学び」の一体的な充実を図る
- タブレット端末の有効活用した学習環境を作る
- 「考える」場面を意識して効果的で効率的な話し合い活動をつくる
- 「分からない」を大切にする授業を構築する
- 授業のめあて、まとめを大切にする
- できたところ・よいところをフィードバックする

思考ツールを活用して!

# 取中生の学びを支える授業のポイント5

今年度のテーマ

高石っ子育みの授業スタンダード基本指導過程をベースにPointとして提示

学習の流れを明らかに  
本時の流れを掲示…全授業で!

Point I 学習の目標(めあて)を明らかにする

要素③

めあて…思考力(スキル)の焦点化

要素①

要素②

Point II 生徒が自分で考える時間を設ける

要素⑤

要素④

考えを整理できそうな思考ツールの活用

Point III 生徒が表現と交流する場を設ける

要素⑤

考えを整理できそうな思考ツールの活用

Chromebookを活用しての効率的共有化

要素⑥

要素④

Point IV 生徒が学んだことを活用する場を設ける

要素③

要素④

《全体での共有→再考→新しい気づき》

要素⑧

Point V 学習のまとめと振り返りの時間を設ける

要素⑦

要素⑨

Chromebookを活用しての効率的共有化

要素④

要素④

要素⑧

学習の見通しをもたせる

授業規律の維持・確立  
生徒指導を意識した  
教科指導

意識化

授業づくりの4Point

要素⑩

- 自己肯定感(自己存在感)の感受を促進する
- 共感的な人間関係を育成する
- 自己決定の場を提供する
- 安全・安心な「居場所」に配慮する

TORIタイム

# 取中生の学びを支える授業のポイント踏まえた要素10

## 要素① 単元を見通した指導計画

- 単元や題材の学習を通して、生徒に身に付けさせる力を明確にした指導計画を作成している。
- 指導計画に基づき単元や題材のめあてを考えている。
- 個に応じた支援について、あらかじめ検討・準備している。

## 要素⑤ 思考ツールの活用

- 多面的・多角的に捉えさせ、情報を整理・分析させている。
- 比較・検討・分類・統合・関連付けながら考えたことを可視化し、操作させている。

(例)

ベン図、ピラミッド、イメージマップ、クラゲチャート、ダイヤモンドランキング、X・Y・Wチャート、マトリックス

## 要素⑨ 授業改善に活かす評価

- 生徒の資質能力を育むために、単元や題材の学習を通して「いつ」「何を」「どのように」評価するかを明確にしている。
- 個の学習状況を把握し、その場で支援したり、次時の授業を改善したりしている。

## 要素② 見通しをもたせるめあてと導入

- 生徒に、何を学ぶか、どのように学ぶのか、見通しをもたせている。
- 学習の流れやめあてを提示している。
- 生徒の興味・関心を高めている。
- ICT機器を活用し、課題の提示を工夫している。

## 要素⑥ 価値ある対話・表現と交流

- 比較・検討・分類・統合・関連付けしながら、生徒の多角的に捉えている。
- ひとり一人の考えを表出させている。
- 教師が生徒の発言を価値づけている。
- 生徒が考えたことを共有している。
- 生徒が本時の学習課題を理解したり、課題を解決したりしている。

## 要素⑩ 認め合う・学び合う集団の形成

- 生徒が互いに、認め合ったり、称賛し合ったりできるようにしている。
- 生徒が粘り強く課題に取り組めるように、受容・称賛・励ましの言葉を掛け合っている。
- 教室掲示等、学習環境を整備している。

## 要素③ 発問の工夫

- 知的好奇心をかき立てる発問をしている。
- 考えを引き出すように発問している。
- 「なぜだろう」「どうしてだろう」と生徒が課題を追究している。
- 教師が思考に働きかけるような発問や、本時のねらいを達成するための発問をしている。

## 要素⑦ 振り返りの設定

- 本時のめあてを振り返らせている。
- 学習内容をまとめている。
- 自分の言葉で本時の学習について自己評価させている。
- 次時の学習の見通しをもたせている。
- 単元のゴールを明確にしている。

## 要素④ ICT機器の活用

- 大型提示装置を活用し、プロジェクターに教材を映している。
- chromebook等のアプリを活用し、教材を校内で共有している。
- chromebook等のアプリを活用し、共同編集作業に取り組ませている。

## 要素⑧ 構造的な板書とノート指導

- ノートに書かせる内容を指示している。
- 情報が整理され、見やすく分かりやすい。
- 生徒の考えたことをキーワードでまとめている。
- 1時間の学習内容や生徒の思考過程を可視化している。

授業をデザインするために必要な10の場面を要素として提示します。  
それぞれの要素項目についてセルフチェックして授業構築の参考にしましょう！

今年度のテーマ

# 今年度のテーマ

**「考える」** 授業づくりの工夫  
～思考ツールを活用して～

「考える」とは？

「順序立てる」「比較する」「分類する」「分析する」「見通しを持つ」など思考過程の細分化⇒思考スキル⇒思考スキルを発揮するための手段が『思考ツール』

今年度のテーマ

?

来年度を  
3年間の結果と  
結果の検証

生徒が「考える」授業  
『思考スキル』  
『思考ツール』

今年度  
『土台』をもと、  
次の取り組みへ

思考ツール研修

ペア・班活動の実施

学びのUD

本時の流れの掲示

タイマーの設置

教室環境の整備

昨年度を  
3年計画の『土台』と  
位置付ける

4月 今年度のテーマと内容を職員に周知

6月 思考スキル研修 校内研究授業（思考スキル・ツール用いたモデル授業①）  
校内研修（岩井晃子教授をお招きして、道徳を通じて『考える』授業のご講義）

7月 取石小学校の授業づくり研修・研究授業『思考ツールをつかって』  
取石小学校研修『シンキングツールの効果的な活用』

11月 道徳公開授業「生徒に考えさせる場面」を取り入れた内容

12月 校内研究授業（思考スキル・ツールを用いたモデル授業②）  
校内研修（半年間、思考スキル・ツールを取り入れてみて）

1月 TM公開授業『考える授業』の構築 ～思考ツールを活用して～ <本日>

3月 校内研究授業（ロイロ、ライップ、思考スキル・ツールを取り入れた授業）  
校内研修（一年間を通しての総括）

6月17日  
校内研修

～考える授業とは？～ 今年度の取り組み

## 考え中

考える機会だと思う。

正直まだわからない。

問いの出し方かな？

教材研究をしっかりと  
やってから授業に入る

一人一人が自他ともに認め、居場所  
や仲間をつくっていけるように教  
師が声をかけ、話をよく聞き、毅然と  
した態度で指導する

⇒ 学級経営が最も大切。

各教科においても授業規律を整えるため、  
生徒理解と 授業の充実が必要。

生徒が主体的に考えることができる授業づく  
りと生徒自身が考えやすい課題であること。

### 「思考スキル」

を組み込む。  
生徒自身が問いや課題  
を見つける。  
独自の答えをしっかりと  
導き出す。  
事象についての因果関係を考察。  
多面的・多角的に考察。  
なぜ、その方法を使えばよいのかを  
考えさせる発問する。  
頭に汗をかくような。  
生徒自身が持つ“知識”を活用する。  
「考えたい」「多様な意見」が出るようなしかけ  
がある。  
発問を選ぶこと。様々な捉え方を知る。  
生徒の意見によって教師側も考える。  
考えてつくった授業

(しっかりと 教材研究した授業)

考える授業はこうだ！

「考える授業」をする上で必要なことは！

Plus(良かった点)	Minus(改善点)	Interesting(面白い点)
<ul style="list-style-type: none"><li>・とても勉強になった。</li><li>・到達すべき価値から逆算して展開を考えることの大切さを再確認。</li><li>・楽しく道徳を学べた。</li><li>・濃い話し合いをさせる授業をめざしたい。     ほか</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・「今求められている授業について」考える、教わる必要がある。</li><li>・思考ツールの使用の具体例を出した話が聞きたかった。</li><li>・教師からの“聞き方”をたくさん研究したい。     ほか</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・他の先生の話し方や考え方を知ることができた。</li><li>・道徳の中心発問を班のメンバーで考える取り組みが楽しかった。</li><li>・考えるには“雰囲気”が大事である。</li></ul>

# 「思考スキルを意識した授業づくりや今、実際に授業で取り入れている実践内容」

国	<ul style="list-style-type: none"><li>・ノートにまとめるより、頭の整理の為に考えて書くことにトライ中。 ・分類してから、<b>バン図</b>にまとめる。</li><li>・本時[単元]の流れを<b>プロットグラム</b>で。 ・<b>バタフライチャート</b>（意見比較に）</li><li>・<b>PMI</b>、<b>クラゲチャート</b>（5回に1回くらい思考ツール）</li></ul>
数	<ul style="list-style-type: none"><li>・比較 ・<b>ステップ&amp;Yチャート</b>を用いて、順序立て多面的に見て、それを比較する。</li></ul>
英	<ul style="list-style-type: none"><li>・<b>マッピング</b>（思い浮かんだテーマ[こと]を書かせる。 ・文法の習得に。</li><li>・<b>Yチャート</b>を使って、平・疑・否 3種の文を作ってどこがちがうか見比べてみる。（違うところの色を変える）</li></ul>
理	<ul style="list-style-type: none"><li>・表の書き方、<b>バン図</b>、<b>座標</b> ・中心となる言葉から<b>イメージマップ</b></li><li>・単元の学習前後に同じテーマで<b>イメージマップ</b>を書かせ、変化を振り返らせている。</li><li>・先生の頭の中を視覚化して、ヒントにする。 ・<b>クラゲチャート</b></li></ul>
社	<ul style="list-style-type: none"><li>・<b>バタフライチャート</b>、<b>Yチャート</b>（色んな立場で見してみる） ・<b>イメージマップ</b>（考えを広げる）</li></ul>
四科	<ul style="list-style-type: none"><li>・自分以外の動きを見て自分の動きを比較させている。（⇒どのようにすればうまくなる？を<u>考えさせたり</u>、教えさせる）</li><li>・発問の答えを <u>chromeBook</u> で共有</li></ul>
支	<ul style="list-style-type: none"><li>・ホワイトボードで見通し（めあて⇒順序⇒ふり返り）【黒板の端】</li></ul>
他	<ul style="list-style-type: none"><li>・比較する ・解説やまとめの時間にも利用する</li></ul>

# 「思考スキルを意識した授業の展望」(今後、このような形や、このような使い方を)

国	・矢印・線・囲み、最強！ ・ステップチャートを使い文書構成を考え、そこから文章を書かせる。
数	・多面的に見る⇒答えにたどりつくためのルートを考えさせる(比較することもできそう) ・ <b>ステップチャート</b> を使って順序立てて考えさせる。←
英	・すべてにおいて、ある程度英語の知識がないと、思考スキルを意識するのが難しい。 ・「選択の仕方」よりも分類は？ <b>ステップチャート</b> を使ってみたい(まとめるのに使いたい)
理	・実験の操作の理由をまとめる。
社	・授業の始めに、本時に取り上げることにに関する <b>イメージマップ</b> を黒板に作り、残した状態で授業を進める。
四科	・技能が上達するために必要なことを考えさせるために思考ツールを使用したい。 ・視覚的なもの(ホワイトボードなどで見せる)で実技科目を教えていきたい。書かせる時間を持たせる。 ・食材の分類分けなど、思考ツールを使って考えたい。
他	・「考えてみよう」の時間…[比較する、分類する、順序立てる、見通す、評価する]←考えるための技法 生徒が考え方を選び、課題に取り組める授業 ・道徳では、教科の特性に関係なく、随時取り入れることが可能かも。

今年度の取り組み

# 校内研修研究討議ワークショップ 12月12日校内研修

思考スキルを意識した授業づくりや今、実際に取り入れている実践内容	思考スキルを意識した授業(づくり)の展望	現在の実践と実践するうえでの工夫や分からないこと？
<p>美：アイデアを出す段階で理由づけさせるなど、以前から、スキルを使用した授業を展開。</p> <p>支：1年国で東トプリントを使用→毎回のよう<b>に思考ツール</b>がある</p> <p>英：ロイロノート内で、イラスト並べ替え→なんでそうしたか？の説明(理由づけ)</p> <p>保：保健の中でグループ内での話し合い(理由づけ)体育の中、ロイロノートで動画→なんでうまく？いけない？の検討をさせる。</p> <p>家：<b>イメージマップ</b>を用いて、住まいの空間や日常生活を<b>広げる</b>ため使用。</p> <p>社：資料を<b>多面的・多角的</b>に読み取る、因果関係、<b>イメージマップ(広げる)</b>資料を<b>比較</b>し、違いや共通点を読み取る。</p> <p>数：説明する活動の中で、<b>ステップチャート</b>を使い、<b>順序立てる</b>ことを意識。単元で身につけて欲しい<b>スキル</b>を<b>掲示物</b>に、めあてに<b>十中八九</b>入れている。 活動させる前に教員から生徒に伝えて意識させる。</p> <p>国：<b>ピラミッドチャート</b>→複数の根拠から(<b>推論</b>)、統一された文章を組み立てる(<b>構造化</b>)。</p>	<p>美：作品を評価より、作品までのアイデアなどを評価することが多くなる傾向があるため、他校では完成までいかない作品が多い。→<u>アイデア評価の方向を考えなければならない</u>…。</p> <p>音：必要な<b>思考ツール</b>を自分で選べるようになって良いのかな？</p> <p>保：動画などで他と自分を<b>比較</b>して、次のステップに繋げる授業。</p> <p>支：英単語の品詞を<b>チャート</b>を用いて、<b>分類</b>し、<b>可視化</b>することで記憶の定着を促す。</p> <p>社：めあてと同時に、<b>思考スキル</b>を提示→生徒も教師も意識して授業ができる</p> <p>数：めあてに取り入れる(←ここからならできそう)算数・数学でなぜ？を考える過程に<b>思考スキル</b>が入ってきそう。なぜを追求するのに<b>多面的に見たり</b>する。 説明する機会を増やすことで入ってきそう。</p> <p>理：分野によっては、いい単元と相性が悪い単元があるので注意。子どもの理解の道筋を<b>モールステップ</b>に分解すると、<b>ステップチャート</b>を活用できる。 <b>スキル⇔ツール</b>の対応に苦慮…。</p>	<p>支：支援の生徒に<b>思考スキルやツール</b>は難しい。</p> <p>理：めあてと<b>思考スキル</b>を分けて提示。 授業全体に<b>ツール・スキル</b>を取り入れられなくても可。</p> <p>四：時間が惜しい！ 考える時間と作業や動く時間の配分。 <b>思考スキル</b>を生徒に使わせるためには、教師の設定や条件提示を明確にしないと、教師側の意図と反した答えが返ってくる。 →シンプルかつ分かりやすい<b>思考ツール</b>を使う方がいいのでは？</p> <p>数：試しているが…、これでいける？</p> <p>※四…四教科</p> <p style="text-align: right; font-size: 1.5em; color: blue;"><b>今年度の取り組み</b></p>

# <各教科の『めあて』の変化>

今年度の取り組み

	令和6年度	令和7年度
国語	孔子と松尾芭蕉の心情に迫ろう。	「僕」と「エーメール」の人物像を確認し、 <b>比較</b> する。
数学	身近なことからを、相似の比を使って説明しよう。	身のまわりにある立体を回転体などに <b>分類</b> してみよう。
英語	英語で手紙を書いてみよう。	”地球市民として何ができるのかを <b>多面的</b> に考え、自分の思いを書くことができる”。
理科	「日本の四季の天気」について知る。	力の大きさとばねののびの <b>関係</b> について調べよう。
社会	政治参加の方法と世論やマスメディアの役割を知る。	蘇我氏や聖徳太子の国づくりの特色とその <b>理由</b> を説明する。

# 思考スキルをめあてに組み込んでいる率

今年度の取り組み

	令和6年度	令和7年度
『めあて』に『思考スキル』を取り入れている	19%	69%
『思考』ツールを授業で活用している（単元の中で1回以上）	9%	100%

※提出いただいた指導案より

# 取石中学校

確かな学びの実現  
(取中[T]の未来[M])

授業力

サポート

TORI  
タイム

基礎学力

職員研修

# 授業力

(考える授業づくりの工夫～思考ツールを活用して～以外で)

## ①校内研究授業 (学期に1回)

1学期：3年国語 2学期：1年数学 3学期：2年英語

## ②交流授業 (旧：相互授業参観)

1学期：5月19日～6月30日

2学期：10月14日～11月26日

3学期：2月2日～2月24日

担当の教科はもちろんのこと、他の教科の授業も見せていただき、いろいろな発見や、新たなアイデアを考える機会を通して、先生方の授業力UPをめざす取り組みです。

# 今年度の取り組み

## 授業参観シート

日時：(11)月(5)日(1)限 参観者(田村)  
 授業者名(木村)先生 クラス:(3年1組) 教科:(社会)  
 7項目

①めあて・目標は明確でしたか	はい	いいえ	部分的に
②発問・指示は生徒の思考を促すものだったか	はい	いいえ	部分的に
③板書・プリントはわかりやすかったか	はい	いいえ	部分的に
④話し方や声の大きさは聞き取りやすかったか	はい	いいえ	部分的に
⑤机間支援はできていたか	はい	いいえ	部分的に
⑥生徒同士の交流はあるか	はい	いいえ	部分的に
⑦まとめ・ふりかえりができているか	はい	いいえ	部分的に

感想欄 〇良かった点(真似したい等)や、さらに工夫できそうな点などをお書きください。  
 もし活用できそうな思考ツールがあればお書きください!

下カードで日本の課題を振り返る際に表面に資料などあんまり見やろのプリント  
 作りが複雑に感じられた。 個人作業から班での共有という流れが、調べ  
学習を繰り返す流れで感じられた。今日、世の中の問題や  
 課題の身近に感じることが出来た。発表の際に 疑問があるのは細かな工夫

提出先：1年→岡崎 t 2年→伏井 t 3年→小川 t もう一回勉強に頑張りたい!  
あじがてろごんじました。

授業参観シート  
 日時：(11)月(5)日(1)限  
 授業者名(木村)先生  
 7項目  
 ①めあて・目標は明確でしたか  
 ②発問・指示は生徒の思考を促すものだったか  
 ③板書・プリントはわかりやすかったか  
 ④話し方や声の大きさは聞き取りやすかったか  
 ⑤机間支援はできていたか  
 ⑥生徒同士の交流はあるか  
 ⑦まとめ・ふりかえりができているか  
 感想欄 〇良かった点(真似したい等)や、さらに工夫できそうな点などをお書きください。  
 もし活用できそうな思考ツールがあればお書きください!

授業参観シート  
 日時：(11)月(5)日(3)限  
 授業者名(木村)先生  
 7項目  
 ①めあて・目標は明確でしたか  
 ②発問・指示は生徒の思考を促すものだったか  
 ③板書・プリントはわかりやすかったか  
 ④話し方や声の大きさは聞き取りやすかったか  
 ⑤机間支援はできていたか  
 ⑥生徒同士の交流はあるか  
 ⑦まとめ・ふりかえりができているか  
 感想欄 〇良かった点(真似したい等)や、さらに工夫できそうな点などをお書きください。  
 もし活用できそうな思考ツールがあればお書きください!

いいです。  
 授業参観シート  
 日時：(11)月(5)日(1)限  
 授業者名(木村)先生  
 7項目  
 ①めあて・目標は明確でしたか  
 ②発問・指示は生徒の思考を促すものだったか  
 ③板書・プリントはわかりやすかったか  
 ④話し方や声の大きさは聞き取りやすかったか  
 ⑤机間支援はできていたか  
 ⑥生徒同士の交流はあるか  
 ⑦まとめ・ふりかえりができているか  
 感想欄 〇良かった点(真似したい等)や、さらに工夫できそうな点などをお書きください。  
 もし活用できそうな思考ツールがあればお書きください!

# TORIタイム

- ① **TORIタイム**とは(取中オリジナルの名称)  
『学校全体で他者との“かかわりの力”を育てる活動を行う時間』を週に1回(10分)行うというものです。具体的には“ソーシャルスキルトレーニング(SST)”と“構成的グループエンカウンター(SGE)”を組み合わせた活動です。



## ② **TORIトーク**

ペア学習やグループ活動でTORIタイムで身につけたスキルを授業場面で活かす。例「ペアでTORIトーク開始！」

# TORIタイム

構成的グループエンカウンター(SGE)  
「アドじゃん」「質問じゃんけん」  
・エクササイズ→シェアリング

『感情』を育む

ソーシャルスキルトレーニング(SST)  
①挨拶 ②うなずいて聞く  
③先生の指示をしっかりと聞く

『行動』を育む

『かかわりの力』の構成要素である「自尊感情とソーシャルスキル」を育む

学校不適應の予防・改善につながる

取中(T)の輝く未来(M)へつながる

# 基礎学力

## ①基礎テスト

定期テスト前に基礎的内容の確認と協働学習による学習意欲の向上をめざします。

## ②よむYOMU

読売新聞が独自に作成した教材を朝のHR前に実施

## ③朝読

朝のHRを始める前に、生徒も先生も10分間読書を行います。

月曜日	朝の10分間読書
火曜日	朝の10分間読書
水曜日	TORIタイム
木曜日	朝の10分間読書
金曜日	よむYOMU

## < 2年理科より >

- (1) 地中の地震発生場所のことを何というか。
- (2) (1) の真上の地上の地点を何というか。
- (3) 地球表面を覆っていて、大陸や海洋がのっかっている岩盤を何というか。
- (4) (3) の動きで岩盤に強い力が加わって、岩盤に亀裂が入り大きくずれることがあるが、この岩盤がずれた場所を何というか。
- (5) 地震が発生したときに生じる揺れのうち、揺れの進行方向に平行に動き、揺れの伝わる速さが速い揺れを何というか。
- (6) (5) の揺れが伝わる波を何波というか。
- (7) 地震が発生したときに生じる揺れのうち、揺れの進行方向に垂直に動き、揺れの伝わる速が遅い揺れを何というか。
- (8) (7) の揺れが伝わる波を何波というか。
- (9) (5) の揺れと (7) の揺れの速さが違うため、観測点でそれぞれの揺れの到達時刻に差が生じるが、これを何というか。

## 今年度の取り組み

テストと類似または同じ問題を作成

総合の時間で**基礎テスト**実施

**基礎テスト**実施後、班で**協働学習**

勉強のポイントが分かる

勉強へのやる気UP → 基礎学力UP

読んでみよう!

# 今年度の取り組み

# よむYOMU

◆ミー太郎のおすすめ記事

## 「低予算ゲーム」商機あり

少ない人数で低予算で開発された「インディゲーム」が注目を集めている。大手メーカーとは一線を画した独自の作品も多く、ヒット作も目立ってきた。海外でも日本発の作品への期待が高まっている。

インディゲームは数人単位の開発チームで製作することも多く、開発コストが安いとされる。一般社団法人のコンピュータエンタテインメント協会によると、家庭用ゲームやPC向けゲームの大作では数十億円かかることも多いのに対し、インディゲームなどの小規模ソフトは1億円未満にとどまることも珍しくないという。

独自の作風でヒットにつながったゲームは多い。

## 少人数制作 独自の作風

スウェーデンのモージャン社が手掛けたRPGアロックスで世界を作る「マインクラフト」や、中国のゲームサリエンス社が開発した二黒「神話悟空」といった作品が知られる。

日本でも、地下通路を歩いて出口を探す8番出口は、人気の高まりから今年8月に映画化された。プロジェクター販売会社「Addin(アラジン) X(東京)が開発したスイカゲームも、シンプルながら爆発的な人気を呼んだ。

ヒット作が増える中、今後は世界にどう売り込んでいくかが問われる。内閣官房によると、ゲームを含めたコンテンツ産業の輸出規模は4.7兆円。政府は2

024年から、インディゲームのクリエイターらを支援する制度を本格的に始めている。

異なる言語や文化への対応も課題となる。日本勢が強みとするロールプレイング・ゲーム(RPG)では翻訳の質がレジャーの満足度を左右するが、あるインディゲームメーカーの関係者は「質の高い翻訳者を確保するのが難しくなっている」と話す。

ゲーム産の動向に詳しい東洋証券の安田秀樹シニアアナリストは「AI(人工知能)による翻訳サービスなどをうまく使えば、コストを低くしてゲームを作る工夫が求められる」と指摘する。

(2025年9月9日 読売新聞朝刊より)

少人数や低予算でもヒット作を作れます。

ゲームの開発競争は、激しさが増すばかりのようです。

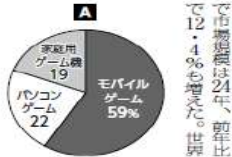


## ゲームもモバイル時代

スマートフォン普及の普及、世界ではモバイルゲーム企業しむ人が増えた。日本企業は家庭用ゲーム機では優位だが、モバイルゲームでは新たな世界戦略が求められている。

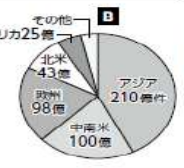
2024年のデータでは、世界全体で家庭用ゲーム機のシェア(占有率)は19%にすぎず、パソコンゲームが22%、スマホなどで遊ぶモバイルゲームが59%を占める。特に東アジアではモバイルゲームのシェアが75%に達する。

モバイルゲームのダウンロード件数は24年、世界で4.9億件に達した。210億件を超えるアジアや、中東米(100億件)、欧州(98億件)が多い。日本企業は、家庭用ゲーム機では世界シェアが8割と、優位を保っている。24年は、フレイルクエーション51が約5億回ダウンロードし、トップ3に及んだ。だが、モバイルゲームで



は中国勢が攻勢を強めている。日本で人気上位のモバイルゲームにも、中国企業が開発したものが少なからずある。ある日本企業の担当者は「中国企業は開発費がケタ違い。ゲームの内容やキャラクターも日本勢と遜色ない」と語る。

こうした中、注目をあつめるのがアフリカ市場。モバイルゲームが9割を占める。24年は26億件余りのダウンロードを記録。ゲーム本体で市場規模は24年、前年比で12.4%も増えた。世界



(2025年11月24日 読売新聞朝刊より)

1 グラフA、Bのタイトルとして最も適切なものをそれぞれ①～④から選び、番号を書きましょう。

- ① 日本製ゲームの世界シェア
- ② 家庭用ゲーム機の地域別販売件数
- ③ モバイルゲームの地域別ダウンロード数
- ④ ゲーム種類別の世界シェア

A: ( )  
B: ( )

2 中国企業の話題を取り上げた狙いとして適切なものを選び、番号を書きましょう。

- ① 日本製のモバイルゲームを中国企業が支えていると強調する狙い
- ② 日本企業がモバイルゲームでは優位に立っていない可能性を示す狙い
- ③ 中国企業は日本製のゲームを巧みに模倣していると評価する狙い
- ④ 日本企業は資金面で中国勢と連携する必要があると指摘する狙い



3 傍線部について、記事は世界戦略の例を具体的に説明しています。その内容をまとめた次の文の空欄ア、イに入る言葉を、記事からそれぞれ6字と2字で抜き出しましょう。

日本企業の有望な販売先として、ゲーム市場の  地域を挙げ、その地域の特徴を説明して、受け入れられやすいゲームの  を示している。

ア:

イ:

# 職員研修

## ①公開授業を参観

高石市立加茂小学校の職員研修『S C辻先生より、保護者対応中心に』

大阪市立西淀中学校『文部科学省リーディングDXスクール事業』

高石市立取石小学校の授業づくり研修・研究授業『思考ツールを使って』

高石市立取石小学校の職員研修『シンキングツールの効果的な活用』

和歌山大学教育学部附属中学校教育研究協議会

豊中市立第十四中学校 T M公開授業研究会

その他、学習指導部員が独自に研修に参加

## ②校内研修

スリンプルプログラム研修 思考スキル・ツール研修

S C活用に関する研修

大阪大谷大学の岩井先生をお招きしての研修

2学期開始前S Cによる夏季研修 など

# 和歌山大学教育学部附属中学校 教育研究協議会

今年度の取り組み



# <令和7年度 取石中学校夏季研修を実施しました>

さて今週号では、先日（8月26日）に実施いたしました、取中夏季研の内容を掲載したいと思います。今年度は取中校区スクールカウンセラー辻麗子先生を講師にお招きし、『つながりを育てる』というテーマで、ご講義をいただきました。（次号以降も夏季研について掲載します）

## <研修の内容>

- ① TORIタイム研修（2学期に向けて）【出雲先生】
- ② SCへの質問アンケートより【辻先生】
- ③ 『ほめる』と『しかる』【辻先生】

☆①～③ともに、ワークショップとロールプレイ中心に行いました。



今年度の取り組み

# サポート

## ① 新任・若手教員へ

例：家庭訪問のすすめ、テストの受け方の共有、  
テスト監督の実施の仕方など(生徒指導部と協力しつつ)  
懇談のすすめ、2学期開始の心構えなどの作成、啓発ポ  
スター掲示

## ② 研修報告や啓発ポスターなどの掲示

授業の三撃、TM通信、研修の報告、啓発ポスターなど  
(職員室の後方の印刷室スペースに)



# 2学期

# START!

ス!

って!

髪する。



ッで。  
う。

2学期がスタート！本格的な1週間が始まりますね。さて、学期のスタートは、教室に活気が戻る瞬間！さあ、と思いつつも、「何すればええんかな？」と不安をお持ちの先生方もいるかもしれません。そこで、参考までに簡単なアドバイスを！（身近な先輩に聞いたり、隣の人に聞いたりしてね）

## ①出席確認と席替え

出席確認と席替えは、学級経営の基本。出席確認は子どもの安全確認、不登校や問題行動の早期発見につながります。また、席替えは子どもの学習環境の変化を与えるだけでなく、子どものコミュニケーションを高めることに役立ちます（新たな仲間とTORIタイム、ペア学習など）。

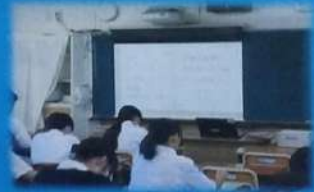
### <ポイント>

- ・出席簿で確認し、きちんと記載事項を記入。
- ・欠席者（遅刻者）がいる場合、理由などを確認し、必要に応じて保護者に連絡。
- ・席替えは、視力や聴力等に配慮し、座席配置を考える。



# 取中授業の三撃!

めあて 筆者の主張を捉える 筆者の主張をまとめよう



①導入で思考ツールを使う練習をしていました。こういう教材があると、他の教科も使いやすくなり、ありがたいです…



②活動を促すために、ペアでの本読みをしていました。全員が参加する工夫がありました!



③読んだ内容を個人or協働でまとめていました。生徒の活動時間を確保することで、丁寧な机間指導をされていたのが印象的でした!

R7.10.17(Fr) 1-2

東先生ありがとうございました!

Supported  
by 学力向上  
委員会

# <成果>

- ① 昨年のUDスタイルが『当たり前』
- ② 思考スキル・ツールなど、新しい取組みにも積極的
- ③ 1年間継続できたこと
- ④ 職員集団が非常に協力的



# < 課題 >

- ① 全教員への共通認識を年度毎に確認。
- ② 研修や交流授業への積極的な参加ができる体制の構築。
- ③ 小中連携の強化。
- ④ 継続してこそその…。



成果と課題と今後に向けて

『考える授業』=『思考スキルをめあてに組み込んだもの』



来年度を  
3年間の結果と  
結果の検証

生徒が「考える」授業  
『思考スキル』  
『思考ツール』

今年度  
『土台』をもと、  
次の取り組みへ

思考ツール研修

ペア・班活動の実施

学びのUD

本時の流れの揭示

タイマーの設置

教室環境の整備

昨年度を  
3年計画の『土台』と  
位置付ける

## 最後に

来年度、1つの成果を出す3年めとなります。TM（取中の未来）に、ご支援・ご協力をいただけたら幸いです。温かい意見や感想をよろしくお願いします。

ご静聴ありがとうございました。

高石市立取石中学校